

項目	Cheiron-GIFTS 2026 公募要項
趣旨	<p>近年、日本の研究者が研究の場を海外に広げ、国際的に活躍することは容易ではなくなっていることが指摘されています。例えば、留学を希望していても、育児や生活に必要な家族関連費用を別途負担しなければならないため、家族・パートナーの帯同を断念したり、場合によっては留学そのものを諦めたりすることもあります。</p> <p>このように、現在約200万人<sup>1</sup>いると推定される日本人研究者の家族の中には、配偶者のキャリアパスや子どもの教育、親の介護等の問題によって、海外留学や研究継続を断念せざるを得ない、いわゆる「家族ブロック」の事例が少なくありません。</p> <p>こうした研究者の家族・パートナーに関する不安を払拭し、研究者が安心して研究に打ち込めること、そして留学という選択肢を前向きに選べる環境を整備することを目的として、研究者の家族・パートナーを対象とした助成金制度「Cheiron-GIFTS<sup>2</sup>（研究者家族留学支援イニシアチブ）」が創設されました。</p> <p>Cheiron-GIFTSは2020年に初めて公募を実施し、今回で7回目となります。Cheiron-GIFTS 2026では、次の①又は②のいずれか1つのテーマを選択して応募してください。</p> <p>① 「研究者の家族・パートナーの海外でのキャリアパスの問題」  家族・パートナー自身の就業、キャリア継続など、海外滞在中のキャリアパスに関する課題を対象とします。</p> <p>② 「既存のシステムで解決できない研究者と家族・パートナーの留学先でのアンメットニーズ」  既存制度・仕組みだけでは対応が難しい、研究者と家族・パートナーの留学に関わる生活・教育・社会的つながり等に関する課題を対象とします。例えば、専門的な診療を十分に受けることが困難な状況や、社会保障協定が未締結であることに伴う不利益や不安といった課題の解決を目指す提案は、テーマ②に含まれます。また、海外で暮らす日本人研究者家族をつなぎ、相互に支え合う仕組みをつくることで、こうした課題の解決を図る提案も、テーマ②の対象となります。</p> <p>テーマ①は、Cheiron-GIFTSの根幹をなすテーマとして、第1回公募から継続して募集してきたものです。一方、これまでのCheiron-GIFTSでは、子どもの教育や「家族」のあり方など、多様な課題が取り上げられてきました。その中で、日本の既存の社会基盤や制度だけでは十分に解決できない、研究者と家族・パートナーのさまざまな困難が存在することが明らかになってきました。そこで、Cheiron-GIFTSでは、2025年からテーマ②を設け、留学先における研究者と家族・パートナーのアンメットニーズや、それに関わる既存システム上の課題に向き合う提案を募集しています。</p> <p><sup>1</sup>日本の研究者数84万7100人（2016年総務省統計局）および1世帯当たり人員2.38人（2015年国勢調査）より概算  <sup>2</sup>Cheiron Grant Initiative for Families enabling Tomorrow's Science</p>
助成金額	<p>【4～10家族程度】1家族あたり、10万円～40万円程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選考後、調整の上、助成金額等について最終決定します。</li> <li>・税金の扱いについては最寄りの税務署にご確認ください。</li> <li>・家族・パートナー全体としての助成となるため、代表者は応募時に任意に決定できます。</li> </ul>

<p><b>応募資格</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国外の大学、研究機関及びこれに準じる施設に所属、又は所属しようとしている研究者に帯同する「家族・パートナー」（研究者自身を含む。）であること<sup>3</sup>。</li> <li>・上記研究者（学生や大学院生を含む。）が、基礎科学（生命科学、生物科学、数理科学、地球/宇宙科学等）の分野や先端技術（エレクトロニクス、バイオ/メディカルテクノロジー、材料科学、情報科学等）の分野、思想・芸術（音楽、美術、映画・演劇、思想・倫理等）の分野で、世界で活躍し日本を主導することを目指していること。</li> <li>・助成金受給後に、翌年の報告会<sup>4</sup>でCheiron-GIFTSを用いた成果を報告するとともに、当法人のウェブサイトやニュースレター等の中で、体験談として、写真などの提供を含め、「研究者と家族が直面しうる様々な問題の解決策」を紹介していただけること（記事の執筆やインタビューを含む。）。</li> <li>・ケイロン・エポスカード（入会金・年会費無料）を通じたCheiron-GIFTSの取組（Cheiorn Initiative × EPOS）<sup>5</sup>にご協力いただけること。</li> <li>・年齢・性別は不問。</li> </ul> <p><sup>3</sup>当法人が支援を考える「家族・パートナー」の一例として、当法人ウェブサイト（<a href="https://www.cheiron.jp/grant">https://www.cheiron.jp/grant</a>）に挙げられたケース1～3があります。</p> <p><sup>4</sup>下記「贈呈式・報告会」の項を参照。</p> <p><sup>5</sup>当法人はCheiron-GIFTSの拡充を図るためケイロン・エポスカード（入会金・年会費無料）の利用額の一部を助成金に活用する取組を行っています。詳細はケイロン・エポスカードのHP（<a href="https://www.eposcard.co.jp/designcard/cheiron/index.html">https://www.eposcard.co.jp/designcard/cheiron/index.html</a>）をご覧ください。</p>
<p><b>応募期間</b></p>	<p>2026年4月1日～2026年4月30日（期日厳守）</p>
<p><b>応募方法</b></p>	<p>当法人のホームページから応募フォームにアクセスの上、登録、提出してください。 <a href="https://www.cheiron.jp/grant">https://www.cheiron.jp/grant</a></p>
<p><b>選考方法</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の選考委員会において、応募フォームの書面審査等により行います。</li> <li>・次の内容を選考の際に勘案します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 翌年の報告会<sup>4</sup>でCheiron-GIFTSによる一定の成果を報告できる提案であること</li> <li>2. Cheiron-GIFTSで着手できる現実的なタイムラインとなっていること</li> <li>3. 留学中の家族・パートナーの在り方についての、申請者としての理想を提示していること</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、世界で活躍する研究者とその家族・パートナーを支援するという当法人の趣旨に則り、研究者自身が個人又はグループで、公的機関及び他の法人・財団から研究留学等に関する助成を受けている又は受けることが決まっている場合、優先的に選考いたします。</li> <li>・なお、応募フォームに記載の内容は個人情報保護法を順守し、予め同意をいただいている活用方法を除き、本選考以外には使用しません。</li> </ul> <p><sup>4</sup>下記「贈呈式・報告会」の項を参照。</p>
<p><b>選考結果通知</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年6月中旬頃までに採択者に結果をご連絡する予定です。</li> <li>・また、選考結果は当法人のホームページで紹介します。</li> <li>・採否の理由に関するお問い合わせには応じかねますのでご了承ください。</li> <li>・虚偽の申請が判明した場合や定められた報告等がなされない場合、採択の取り消し、助成額の全額返還を求める場合があります。</li> </ul>

<b>交付</b>	2026年6月末日頃に交付します。
<b>贈呈式・ 報告会</b>	Cheiron-GIFTS贈呈式（2026年11月23日開催予定）及び報告会（2027年11月23日開催予定）にオンライン等での出席をお願いする場合があります。
<b>報告義務</b>	<p>・交付金受給者は、応募資格に記載のとおり、翌年の報告会<sup>4</sup>でCheiron-GIFTSを用いた成果を報告することのほか、当法人のウェブサイトやニュースレター等の中で、体験談の執筆やインタビューに応じていただきます。</p> <p><sup>4</sup>上記「贈呈式・報告会」の項を参照。</p>